

2017 高齢者福祉

岡田山集会所にて行われている社会福祉協議会主催のイベントに定期的に参加し、高齢者の方との交流を深めることで、支援のあり方を探りました。秋以降は月に1回、主催者となってイベントを実施しました。また、大学各部活動やサークルに活動の呼びかけの実施や、Vistas・K.C.Press・ルンバの取材を受けるなど、広報活動も精力的に行っています。

前期の授業では、西宮市社会福祉協議会の方にお話を伺い、少子高齢化の問題や、西宮市・大学周辺にある岡田山集合住宅の高齢化率の現状について学びました。大学から5分の場所にあり、このプログラムでも過去2年にわたり交流を続けてこられた場所ということをお聞きし、私たちもこの場所で活動することを決めました。

後期に入ってから、月1回、全部で4回のイベントを開催することになりました。毎回、住宅の方々と交えた打ち合わせを行い、どんな企画が皆さんに喜んでもらえるかを一緒に考えました。目の見えにくい方、手が動かしにくい方などの情報も教えていただき、内容のブラッシュアップを進めました。

また、社会福祉協議会の方とも定期的に会議を重ね、前年度までの活動の反省を踏まえて「高齢者同士の繋がりを強くする」「他の人に私たちの活動を引き継いでもらえるような環境づくり・広報活動」という二つの大きな目標を掲げました。その達成に向け、1回ごとのイベントにもそれぞれの目標を設定することにしました。



●女学院カフェ ～麦茶作り～●

(日時) 2017年9月16日(土)
(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々
(参加) 18名、社協スタッフ2名
(学生スタッフ) 5名

一回目のイベントは「高齢者に私たちを知って

もらう」ことを目的に行いました。私たちは、プログラム全体の活動として甲山農地で農作業を行ってもいるので、その紹介を兼ねて、農地でとれた麦を使った麦茶作りを行いました。班に分かれて麦を炒ってもらい、その後各自でオリジナルの麦茶パックを作成し、お土産として持って帰ってもらいました。またカフェの



時間には先ほどの炒りたての麦茶を提供しました。香りが良いと、大変好評でした。最後に実施したアンケートでは、「昔を思い出して楽しかった」「皆で楽しく作ることが出来た」など、嬉しいご感想を沢山頂きました。

時間の都合上、用意していたゲームが出来なかったことや、当日のあいにくのお天気のため、参加者は少なかったのですが、全体的に楽しく和やかな雰囲気イベントを終えることが出来ました。

●女学院カフェ ～ハロウィンを楽しもう～●

(日時) 2017年10月28日(土)
(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々
(参加) 20名、社協スタッフ2名
(学生スタッフ) 5名

二回目のイベントでは、「私たちが高齢者のことを知る」ことを目的としました。1回目のイベントを生かし、マイクの使用や大きな声でゆっくりと話すことや、時間配分を細かく決めた進行の仕方などの改善をしました。

非日常の「ハロウィン」を楽しんでいただくため、初めての試みとしてドレスコードを指定したのですが、皆さん楽しんで着用してきてくださり、とても嬉しかったです。工作の時間では、マスカレード



マスクを作成しました。皆さんとっても素敵なデコレーションをしてくださいました。ビーズやパンコールなどの

飾りを用意していたのですが、少し小さすぎるとい声も上がり、今後の改善点として捉え、次に生かしました。

それぞれのマスカレードマスクを着用して記念撮影をした後は、班対抗で体を動かすゲームも行いました。スプーンの上にピンポン玉を乗せて運ぶリレーと風船を使った軽いバレーボールはどちらも大盛り上がりでした。



最後にカフェの時間をもち、交流をもちました。全体の雰囲気もイベントの精度も前回より上げることが出来ました。「とっても楽しかった」「時間がたつのが早く感じた」「簡単な食事でも一緒に食べたい」という意見を頂き、次回への励みになりました。

●女学院カフェ ～秋の味覚を感じよう～●

(日時) 2017年11月17日(金)
(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々
(参加) 18名、社協スタッフ2名
(学生スタッフ) 4名

三回目のイベントでは、「高齢者一人ひとりが自分でできることを積極的にチャレンジする」ことを目標にしました。今回のイベントでは、受け身になるのではなく自らの役割を見つけてもらうため、「役割カード」を配布し、それぞれが責任を持ってやっただけ工夫を施しました。



内容としては、「一緒に食事を・・・」というアンケートでのお声を踏まえ、サツマイモを使った料理イベントを企画しました。これは私たちが農地に通い、栽培・収穫を行ったサ

ツマイモです。

普段話すことのない参加者同士の交流を促すため、くじ引きで班を決め、その班毎に「スイートポテト餅」を作ってもらいました。皆さんとても手際が良く、私たちが教えていただくほどでした。

最後は、こちらで準備しておいたサツマイモご飯と茎で作った佃煮を用意し、皆で試食の時間をとりました。皆さん、美味しく召し上がっていただきました。



●女学院カフェ ～秋の味覚を感じよう～●

(日時) 2017年12月16日(土)
(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々
(参加) 35名(うち子ども6名)、
(社協スタッフ) 3名
(学生スタッフ) 5名

私達最後のイベントは、「高齢者同士の繋がりを強くする」「他の人たちに私たちの活動を引き継いでもらえるような環境づくり・広報」という全体目標を掲げて行いました。今年で3年目になるクリスマス会は、高齢者の皆様もとても楽しみにしてくださっており、過去最高の参加者の方が集まってくれました。集会所が満員になっている光景は本当に嬉しかったです。

また、1年間ずっと悩み続けてきた、後輩や部活動への広報も実現しました。イベント当日は、写真



部と美術部の方が写真や絵を貸してくださり、会場に飾ることができました。また、ギター部の方にはイベントの途

中で演奏をお願いし、コラボも実現しました。KC.pressさんには、最初から最後までイベントを見ていただき、記事にさせていただきました。ご協力いただいた各団体に、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

始めのハンドベル演奏では「ジングルベル」を演奏し、クリスマスの雰囲気を感じていただきました。

た。その後、クリスマスツリーを全員で作成しました。天井に届くくらい大きなフェルトで作ったクリスマスツリーに、参加者の方々に各自作っていただいた、オリジナルのオーナメントを飾ってもらいました。クリスマスカードには、私たちからのメッセージシール



を貼っていただき、表紙には当日の集合写真を貼り、記念として持って帰ってもらいました。



を貼っていただき、表紙には当日の集合写真を貼り、記念として持って帰ってもらいました。

最後に、毎回恒例のカフェの時間をもちました。初参加の方々も常連となってきてくださった方もとても和やかな雰囲気楽しんでくださいました。

イベント後に実施したアンケートでは、これまで3回のイベントで知り合った方と普段の生活でも交流するようになったか?という問いに対し、8割以上の方が「交流できるようになった」と回答してくださいました。普段は顔なじみのメンバーで集まっていらっしゃるようですが、私たちのイベントでは毎回のくじ引きによる班分けをしたので、喜んでいただきました。

「台風が近づいていても、女学院の学生のイベントには参加したい」「女学院の学生と接するのがどの行事よりも楽しく、全出席したい」というお声もいただき、この交流自体が求められていることに気づきました。

また、私たち学生との交流、イベントという企画がきっかけとなって、高齢者の方々同士の交流が出来ていることが感じられました。それが、日常での楽しさ・生きがいに繋がっていけば嬉しいです。

今後もここ岡田山集会所での女学院生と高齢者との繋がりが深まっていくことを期待します。私たちの活動に係わって



くださった皆様、本当にありがとうございました。